

事業評価書

補助事業名	千歳飛行場関連公共施設（教育文化施設：植苗小中学校校舎屋根改修工事）整備事業						
補助事業者名	苫小牧市						
実施場所	苫小牧市立植苗小中学校（苫小牧市字植苗50番地）						
補助事業の成果の目標	本施設の屋根は老朽化が激しく、児童・生徒の生活の場に雨漏りや、すが漏りが生じている。本事業において老朽化した屋根の改修工事を行い、雨漏りや、すが漏りをなくし、教育環境の向上を図ることを目的とする。						
補助事業の内容	校舎屋根防水改修工事 一式						
補助事業の始期及び終期	平成30年6月～平成30年9月						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	平成31年度 予定	平成32年度 予定	平成33年度 予定	計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額		29,500,000				29,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>屋根の改修工事を実施し、学校長、教頭、事務職員、公務補及び教諭等に対して聞き取り調査を行ったところ、「安心して教材を教室内に置けるようになった。」、「より効率的な業務が行えるようになった。」などの評価が得られたことから、安全性の確保と学習環境の向上が図られた。</p> <p>なお、当該事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金によるものであることを、学校掲示板にポスターを貼付及び市ホームページへ掲載したことで保護者や市民への周知を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	改修した屋根について、適切な維持管理を継続する。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	千歳飛行場関連公共用施設（交通施設：苫小牧早来線舗装道路改修）整備事業						
補助事業者名	苫小牧市						
実施場所	苫小牧市字美沢110番地先						
補助事業の目的	<p>当該路線は、当市有数の観光施設に通じる路線で、観光バスなどの大型車両の通行が多いことから路面損傷が著しく、地域住民からの強い改修要望もあり、安心・安全な交通網を確保するため改良を要する状況にある。</p> <p>本事業の実施により、通行障害を防止し、安全かつ円滑な通行を確保して、生活環境の改善を図る。</p>						
補助事業の内容	<p>全体：舗装改修 L=1,168.67m W=8.50m</p> <p>本年度実施分：舗装改修 L=417.75m W=8.50m</p>						
補助事業の始期及び終期	<p>全体：平成28年度～平成30年度</p> <p>本年度実施分：平成30年9月～平成31年1月</p>						
事業費及び交付金額		平成29年度 まで	平成30年度	平成31年度 予定	平成32年度 予定	平成33年度 予定	計
	事業費	円 71,852,400	円 40,629,600	円	円	円	円 112,482,000
	交付金額	67,500,000	40,000,000				107,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業の実施により、地域住民から「走りやすくなった」や、「安全性が高まった」という意見が得られたため通行障害を防止し生活環境が改善されたと評価できる。</p> <p>また、当該路線整備が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨の地域住民への周知を、以下の方法によって図った。</p> <p>①市のホームページ（本工事の実施及び完了のお知らせ）</p> <p>②同地区の町内会へ配付する工事のお知らせチラシ</p>						
事業の改善策及び今後の対応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施する。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	千歳飛行場関連公共用施設（教育文化施設：生徒用机・椅子）整備事業						
補助事業者名	苫小牧市						
実施場所	苫小牧東中学校（苫小牧市旭町1丁目7番10号） 勇弘中学校（苫小牧市字勇弘132番地） 光洋中学校（苫小牧市光洋町2丁目5番2号） 啓北中学校（苫小牧市啓北町2丁目12番11号） 和光中学校（苫小牧市双葉町1丁目11番3号） 凌雲中学校（苫小牧市青雲町2丁目15番3号） 植苗中学校（苫小牧市字植苗50番地） 沼ノ端中学校（苫小牧市東開町6丁目1番2号） 開成中学校（苫小牧市清水町2丁目9番2号） 明倫中学校（苫小牧市日新町3丁目5番13号） 啓明中学校（苫小牧市はまなす町2丁目2番2号） 明野中学校（苫小牧市明野新町3丁目13番1号） 緑陵中学校（苫小牧市のぞみ町3丁目10番1号） 青翔中学校（苫小牧市拓勇東町6丁目15番1号）						
補助事業の成果の目標	現在、苫小牧市内で使用されている、旧日本工業規格の机・椅子は老朽化が激しく、机天板や座板のささくれ等による怪我・衣服の破損等が報告されている。 また、教科書の大判化により、生徒の学習スペースが狭いことから、本事業を実施することで、生徒の学習環境及び安全性の向上を図る。						
補助事業の内容	全体：生徒用机・椅子6,869組 今年度：生徒用机・椅子577組						
補助事業の始期及び終期	全体：平成26年～平成33年度 今年度：平成30年11月～平成31年1月						
事業費及び交付金額		平成29年度 まで	平成30年度	平成31年度 予定	平成32年度 予定	平成33年度 予定	計
	事業費	円 41,574,219	円 5,920,020	円 10,717,000	円 4,956,000	円 2,466,000	円 65,633,239
	交付金額	円 39,871,000	円 5,000,000	円 10,000,000	円 4,460,000	円 2,220,000	円 61,551,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	机・椅子を更新し、聞き取りを行ったところ、「衣服の損傷がなくなった」、「大判の教材に対応する学習スペースが確保された」などの評価が得られたことから、安全性の確保と学習環境の向上が図られた。 なお、当該事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金によるものであることを、学校掲示板にポスターを貼付及び市のホームページへ掲載したことで保護者や市民への周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後、適切な管理を行いながら計画的に事業を実施する。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	千歳飛行場関連公共用施設（交通施設：そよ風と遊ぶ道改修）整備事業						
補助事業者名	苫小牧市						
実施場所	苫小牧市拓勇西町2丁目2番地先～拓勇西町6丁目18番地先						
補助事業の目的	<p>当該路線は、ウッドチップ舗装を採用し歩行者専用道路として建設され、毎年「沼ノ端地区4町内会合同ウォーキングラリー」が開催されるなど、多くの市民に利用されている。</p> <p>建設から10年が経過し、ウッドチップが土化して路盤材が浮き出たことにより歩行に支障をきたし、「まちかどミーティング（市長懇談会）」等において、隣接する4町内会から、改修要望が寄せられている。</p> <p>本事業により、歩行障害を防止し、安全かつ円滑な通行を確保して、生活環境を改善を図る。</p>						
補助事業の内容	<p>全体：舗装改修 L=7,559.02m W=2.00m</p> <p>本年度実施分：舗装改修 L=1,024.81m W=2.00m</p>						
補助事業の始期及び終期	<p>全体：平成28年度～平成30年度</p> <p>本年度実施分：平成30年11月～平成31年1月</p>						
事業費及び交付金額		平成29年度 まで	平成30年度	平成31年度 予定	平成32年度 予定	平成33年度 予定	計
	事業費	円 49,626,000	円 11,070,000				円 60,696,000
	交付金額	46,500,000	9,500,000				56,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業の実施により、地域住民から「歩きやすくなった」や「疲れにくくなった」という意見が得られたため、歩行障害を防止し生活環境が改善されたと評価できる。</p> <p>また、当該路線整備が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨の地域住民への周知を以下の方法によって図った。</p> <p>①市ホームページ（本工事の実施及び完了のお知らせ） ②同地区の町内会へ配付する工事のお知らせチラシ</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施する。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	千歳飛行場関連特定事業（防災に関する事業：災害用備蓄品購入）						
補助事業者名	苫小牧市						
実施場所	新開倉庫（苫小牧市新開町2丁目12番7号）						
補助事業の成果の目標	<p>苫小牧市では、「苫小牧市地域防災計画」に基づき、インフラ整備や避難場所の指定などハード・ソフトの両面から防災対策を行っている。</p> <p>本事業により、被災時などにおける市民への物資供給のため必要性が高く備蓄可能な災害用備蓄品を購入し、災害時において市民が安心出来るように防災備品の拡充を図る。</p> <p>なお、苫小牧市では平成24年度から令和3年度までにおいて、約1万人分の備蓄品の整備を計画しており、当事業は計画の7か年目で約15.5%にあたる備品の整備を目標としている。</p>						
補助事業の内容	災害用備蓄品 車椅子外						
補助事業の始期及び終期	<p>全体：平成24年度～令和3年度</p> <p>今年度：平成30年12月～平成31年3月</p>						
事業費及び交付金額		平成29年度 まで	平成30年度	令和元年度 予定	令和2年度 予定	令和3年度 予定	計
	事業費	88,983,447	9,604,170	14,734,062	14,580,000	14,774,400	142,676,079
	交付金額	83,891,000	8,210,000	12,594,676	12,462,984	12,629,157	129,787,817
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>災害時に避難所で必需品となる、車椅子、敷マット、間仕切りセットを購入し整備したことにより、市民の安全を守る防災備品として貢献している。</p> <p>また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業を活用した事業であることを、購入品に表示するとともに、市のホームページへ掲載し、地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	<p>今後も東日本大震災、熊本地震及び平成30年北海道胆振東部地震を教訓とした検証を行い、整備計画の見直しや計画的な備蓄配備に努めていく。</p>						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						